

すべての人が「隣人」となる

第一朗読 (2コリント8章1-9節)

1 兄弟たち、マケドニア州の諸教会に与えられた神の恵みについて知らせましょう。2 彼らは苦しみによる激しい試練を受けていたのに、その満ち満ちた喜びと極度の貧しさがあふれ出て、人に惜しまず施す豊かさとなったということです。3 わたしは証しますが、彼らは力に応じて、また力以上に、自分から進んで、4 聖なる者たちを助けるための慈善の業と奉仕に参加させてほしいと、しきりにわたしたちに願い出たのでした。5 また、わたしたちの期待以上に、彼らはまず主に、次いで、神の御心にそってわたしたちにも自分自身を献げたので、6 わたしたちはテトスに、この慈善の業をあなたがたの間で始めたからには、やり遂げるようにと勧めました。7 あなたがたは信仰、言葉、知識、あらゆる熱心、わたしたちから受ける愛など、すべての点で豊かなのですから、この慈善の業においても豊かな者となりなさい。

8 わたしは命令としてこう言っているではありません。他の人々の熱心に照らしてあなたがたの愛の純粋さを確かめようという言うのです。9 あなたがたは、わたしたちの主イエス・キリストの恵みを知っています。すなわち、主は豊かであつたのに、あなた

がたのために貧しくなられた。それは、主の貧しさによって、あなたがたが豊かになるためだったので。

福音 (マタイ5章43-48節)

43 「あなたがたも聞いていとおと、『隣人を愛し、敵を憎め』と命じられている。44 しかし、わたしは言っておく。敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。45 あなたがたの天の父の子となるためである。父は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださるからである。46 自分を愛してくれる人を愛したところで、あなたがたにどんな報いがあるうか。徴税人でも、同じことをしているではないか。47 自分の兄弟にだけ挨拶したところで、どんな優れたことをしたことになるうか。異邦人でさえ、同じことをしているではないか。48 だから、あなたがたの天の父が完全であられるように、あなたがたも完全な者となりなさい。」

朗読から祈りへ

―神の恵み―

恵みというものを、どうしても目に見える「モノ」として捉えてしまうきらいがある。与えられる「モノ」として。しかし、「恵み」と訳されているギリシャ語の「カリス」という語が、他にも「美しさ、好意、感謝」とも訳されているところを見ると、どうやら単なるモノではないように思えてくる。

「恵み」、それは健康であつたり、富であつたり、才能であつたり、自分にとつて「いいもの」であつたり…。それを神から与えられた恵みとして捉えたりする。そして、そのようなものが与えられたと考えるとき、神に感謝する。しかし健康でなかったり、貧しかったり、目立つ才能を持つてなかったり、いいものが与えられてなかったり…そのようなきでも人は感謝することが出来る。そのようなきでも、人は美しく、好意をもたれることがある。

神から与えられているもの、それはモノではなく、カリスである。

貧しい人に与えるとき、そのとき逆に貧しい人から与えられるとよくいわれているが、それは真実だと思う。

マケドニア州の教会は苦しみによる激しい試練のさなかにあつても人の必要に目を留め、施しをすることを熱望する。貧しさのなかにあつても与えようとする。それは、人びとが神の恵み（カリス）を受けていたことに気づいたから。そこから慈善の業や奉仕の心が出てくる。この慈善の業をやり遂げるようにとパウロは励ます。

今でも、「貧しくなられた主によつて豊かにされている」ことを思えば、教会の慈善事業や奉仕のあり方も変わつてくるのではなからうか。

―自然であること―

「敵を愛し、自分を迫害する者のために祈る」ことなど出来るだろうか。「天の父が完全であられるように、完全な者となる」ことなど出来るだろうか。敵は憎む者であり、憎むから敵になる。人間は不完全な者であることは誰でも知っており、そのことは日々体験することである。敵を愛すること、人が完全になることなど不自然である。

イエスは言う。あなたがたは「天の父の子」であると。その天の父は「悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせる」。すべての人が神の愛に包まれている。善いと思われる人にも、悪いと思われる人にも。すべての人は「天の父の子」。神にとつてはすべての人が自分の子ども。そうあることは神にとつて自然なこと。

この「天の父」の視点に立つとき、このことを信じるときにすべての人を「隣人」として愛することが出来る。わたしたちにとつては悪人でさえ「隣人」となる。敵を作り、敵を憎むことが自然であることが変わる。不完全であることが変わる。神のように完全になるということではなく、人として完全になることができる。つまり、神の愛に包まれるとそうなる。

「あなたがたの天の父が完全であられるように、あなたがたも完全な者となりなさい。」この言葉を聞くと退いてしまふ。そのようになれるはずがない、と思つてしまふ。あきらめてしまふ。それが自然だと思つてしまふ。でも、「天の父の子」は違ふ。すべての人が「隣人」となる。それが自然となる。そうあることが、人が完全になるということではないだろうか。

(M・M・Y)